進級・卒業（修了）の認定基準

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

理学療法学科　（～2022年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１６単位</td><td>５単位以上※１

うち２単位は選択必修</td><td rowspan="2">総合教育科目：
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「統計学」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」
は必修科目で１６単位。

※１「韓国語」「中国語」より２単位選択必修。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１６単位</td><td>５単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３５単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から３単位以上</td><td>選択科目：
「公衆衛生学」、「精神医学Ⅱ」、
「栄養学」、「カウンセリング論」、
「リスクマネジメント論」、「ケアマネジメント論」、
「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６７単位</td><td>選択科目：
「理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）」、
「動作分析学」、「高次脳機能障害学」、
「癌のリハビリテーション」、「福祉住環境論」、
「理学療法技術学」、「先端リハビリテーション科学」、
「クリニカルリーズニング」、「産科理学療法学」、
「障害者スポーツ概論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１０２単位</td><td>３単位</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１８単位</td><td>８単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２６単位</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

理学療法学科（留学生を除く）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１６単位</td><td>５単位以上
※１
うち２単位は選択必修</td><td rowspan="2">【必修科目（１６単位）】
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」

※１「韓国語」「中国語」より２単位選択必修。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１６単位</td><td>５単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３４単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から３単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「精神医学Ⅱ」、
「栄養学」、「カウンセリング論」、
「リスクマネジメント論」、「ケアマネジメント論」、
「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６６単位</td><td>【選択科目】
「高次脳機能障害学」、「癌のリハビリテーション」、
「理学療法技術学」、「先端リハビリテーション科学」、
「ウィメンズヘルス理学療法学」、「スポーツ障害学」、
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１００単位</td><td>３単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１６単位</td><td>８単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

科目履修条件

「基礎実習」、「地域理学療法学実習」、「評価実習」、「総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ」は当該科目の履修条件に従う(シラバス参照)。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

理学療法学科（留学生）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td><td rowspan="2">【必修科目（２０単位）】
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」、
「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」、「日本語Ⅳ」</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３４単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から３単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「精神医学Ⅱ」、
「栄養学」、「カウンセリング論」、
「リスクマネジメント論」、「ケアマネジメント論」、
「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６６単位</td><td>【選択科目】
「高次脳機能障害学」、「癌のリハビリテーション」、
「理学療法技術学」、「先端リハビリテーション科学」、
「ウィメンズヘルス理学療法学」、「スポーツ障害学」、
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１００単位</td><td>３単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１２０単位</td><td>４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

科目履修条件

「基礎実習」、「地域理学療法学実習」、「評価実習」、「総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ」は当該科目の履修条件に従う(シラバス参照)。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

作業療法学科　（～2022年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１６単位</td><td>５単位以上※１

うち２単位は選択必修</td><td rowspan="2">総合教育科目：
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「統計学」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」
は必修科目で１６単位。

※１「韓国語」「中国語」より２単位選択必修。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１６単位</td><td>５単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３６単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から２単位以上</td><td>選択科目：
「公衆衛生学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６５単位</td><td>選択科目：
「作業応用論」、「作業療法諸理論」
「中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「小児作業療法学Ⅲ（特論）」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１０１単位</td><td>２単位</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１７単位</td><td>７単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

作業療法学科（留学生）　（～2022年度入学生）

卒業に必要な単位数（留学生）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td><td rowspan="2">総合教育科目：
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「統計学」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」
及び日本語科目は必修科目で２０単位。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３６単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から２単位以上</td><td>選択科目：
「公衆衛生学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６５単位</td><td>選択科目：
「作業応用論」、「作業療法諸理論」
「中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「小児作業療法学Ⅲ（特論）」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１０１単位</td><td>２単位</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１２１単位</td><td>３単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

作業療法学科（留学生を除く）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１６単位</td><td>５単位以上
※１
うち２単位は選択必修</td><td rowspan="2">【必修科目（１６単位）】
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」

※１「韓国語」「中国語」より２単位選択必修。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１６単位</td><td>５単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３５単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から3単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６５単位</td><td>【選択科目】
「作業応用論」、「作業療法諸理論」
「中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「小児作業療法学Ⅲ（特論）」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１００単位</td><td>３単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１６単位</td><td>８単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

科目履修条件

第3学年前期までに開講された必須の専門科目の単位をすべて修得しなければ、「評価実習」を履修することができない。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

作業療法学科（留学生）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td><td rowspan="2">【必修科目（２０単位）】
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」、
「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」、「日本語Ⅳ」</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３５単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から3単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６５単位</td><td>【選択科目】
「作業応用論」、「作業療法諸理論」
「中枢神経疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「精神疾患作業療法学Ⅲ（特論）」
「小児作業療法学Ⅲ（特論）」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１００単位</td><td>３単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１２０単位</td><td>４単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

科目履修条件

第3学年前期までに開講された必須の専門科目の単位をすべて修得しなければ、「評価実習」を履修することができない。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

視能訓練学科　（～2022年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１６単位</td><td>５単位以上※１

うち２単位は選択必修</td><td rowspan="2">総合教育科目：
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「統計学」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」
は必修科目で１６単位。

※１「韓国語」「中国語」より２単位選択必修。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１６単位</td><td>５単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３５単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から８単位以上</td><td>選択科目：
「公衆衛生学」、「リハビリテーション医学」、
「精神医学Ⅱ」、「救急医学」、
「基礎薬理学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>６０単位</td><td>選択科目：
「視覚情報処理論Ⅲ」、「視覚と注意」、
「視能矯正学特論」、「視能検査学入門」、
「研究と文献Ⅱ」、「視能障害学特論」、
「視覚とヴァーチャルリアリティ」、「視能訓練学特論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９５単位</td><td>８単位</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１１単位</td><td>１３単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

視能訓練学科（留学生を除く）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１６単位</td><td>５単位以上
※１
うち２単位は選択必修</td><td rowspan="2">【必修科目（１６単位）】
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」

※１「韓国語」「中国語」より２単位選択必修。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１６単位</td><td>５単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３７単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から８単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「リハビリテーション医学」、
「精神医学Ⅱ」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>５８単位</td><td>【選択科目】
「視能矯正学特論」、「視能検査学特論」、
「眼科診療コミュニケーション学」、
「視能障害学特論」、「視能訓練学特論」、
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９５単位</td><td>８単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１１単位</td><td>１３単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第2学年への進級条件】

第１年次に開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が４科目以下であること。

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

視能訓練学科（留学生）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td><td rowspan="2">【必修科目（２０単位）】
「心理学」、「社会保障制度論」、
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、
「生命倫理」、「大学入門講座」、
「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」、
「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」、「日本語Ⅳ」</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>２０単位</td><td>１単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>３７単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から８単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「リハビリテーション医学」、
「精神医学Ⅱ」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「リスクマネジメント論」、
「ケアマネジメント論」、「保健医療福祉制度論」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>５８単位</td><td>【選択科目】
「視能矯正学特論」、「視能検査学特論」、
「眼科診療コミュニケーション学」、
「視能障害学特論」、「視能訓練学特論」、
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９５単位</td><td>８単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１５単位</td><td>９単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第2学年への進級条件】

第１年次に開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が４科目以下であること。

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

言語聴覚学科（留学生を除く）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１４単位</td><td>人間系から4単位以上、社会系と自然・情報系合わせて4単位以上、外国語※１科目から3単位以上</td><td rowspan="2">【必修科目（１４単位）】
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、「生命倫理」、
「健康科学理論」、「健康スポーツ実践」、
「大学入門講座」、「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」

選択科目：
※１　「英会話」、「韓国語」、「中国語」から３単位以上選択。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１４単位</td><td>１１単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>４２単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から８単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「リスクマネジメント論」、
「救急医学」、「ケアマネジメント論」、
「内科学Ⅱ（臨床）」、「老年学」、
「基礎薬理学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「児童精神医学」、
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>４９単位</td><td>【選択科目】
「言語聴覚障害学研究法」、「卒業研究」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９１単位</td><td>８単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１０５単位</td><td>１９単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門科目を全て修得していること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

科目履修条件

・第3学年前期までに開講された必修の専門科目の単位をすべて修得しなければ、「臨床実習Ⅰ（基礎）」を履修することができない。

・「卒業研究」を履修するためには、「言語聴覚障害学研究法」（第3学年開講）の単位を修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

言語聴覚学科（留学生）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2">総合教育科目</td><td>１９単位</td><td>人間系から4単位以上、社会系と自然・情報系合わせて4単位以上</td><td rowspan="2">【必修科目（１９単位）】
「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」、
「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」、
「データサイエンス」、「医療とICT」、「生命倫理」、
「健康科学理論」、「健康スポーツ実践」、
「大学入門講座」、「医学英語Ⅰ」、「医学英語Ⅱ」、
「英会話」、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」、
「日本語Ⅳ」</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１９単位</td><td>８単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>４２単位</td><td rowspan="2">専門教育科目から８単位以上</td><td>【選択科目】
「公衆衛生学」、「リスクマネジメント論」、
「救急医学」、「ケアマネジメント論」、
「内科学Ⅱ（臨床）」、「老年学」、
「基礎薬理学」、「栄養学」、
「カウンセリング論」、「児童精神医学」、
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>４９単位</td><td>【選択科目】
「言語聴覚障害学研究法」、「卒業研究」
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９１単位</td><td>８単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１０単位</td><td>１６単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２６単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２学次までに開講される必修の専門科目を全て修得していること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目の単位をすべて修得していること。

科目履修条件

・第3学年前期までに開講された必修の専門科目の単位をすべて修得しなければ、「臨床実習Ⅰ（基礎）」を履修することができない。

・「卒業研究」を履修するためには、「言語聴覚障害学研究法」（第3学年開講）の単位を修得していること。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

言語聴覚専攻科　（2022年度入学生）

進級条件

言語聴覚専攻科の進級要件は次の通りとする。

①第１学年で開講された必修の専門教育科目のすべてを修得していなければ第２学年に進級することはできない。
②臨床実習を履修するためには、「言語聴覚障害学特論Ⅱ」を修得しておく必要がある。
③卒業判定会議で再々試が認められた場合は、再々試の結果をもって卒業を認める。

看護学部の進級と卒業について

1. 進級の要件

● 2年次から3年次への進級条件

2年次までの専門教育科目について必修科目の未修得科目が**2科目以内**であること。

● 3年次から4年次への進級条件

3年次までの必修の授業科目のうち、未修得科目が**2科目以内**であること。

2. 卒業の要件

看護学部では本学に4年以上在学し、指定された必修科目すべてと選択科目を合わせて、卒業に必要な単位を修得しなければ卒業することができない。
卒業に必要な単位は次のとおりである。なお、選択科目は決められた方法で単位を修得しなければならない。

3. 卒業に必要な単位数・進級条件・科目履修条件

● 卒業に必要な単位数 （留学生以外の2021年度入学生）

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得する。なお、必修科目については、「授業科目一覧」（p58）を参照する。

授業科目の区分		最低単位数		備考
		必修	選択	
総合教育科目	人文科学系	2単位	11単位以上	
	社会科学系			
	自然情報科学系	5単位		
	外国語系	4単位		
	小　計	11単位	11単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	26単位	4単位以上	
	専門科目	70単位	2単位以上	
	小　計	96単位	6単位以上	
合　　計		107単位	17単位以上	
総　　計		124単位以上		

● 科目履修条件

● 臨地実習は「看護学部教務内規 別表1」により当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる。

4.　卒業要件と看護師国家試験受験資格および保健師国家試験受験資格

看護学科の卒業要件は、**124 単位の単位修得**を必要とし、これをもって看護師国家試験受験資格を満たす。

保健師履修コースの選択者は、**135 単位以上の単位修得**を必要とし、これをもって看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格を満たす。

なお、保健師履修コースの選択者のうち、135 単位以上の単位修得ができない不測の事態が発生しても、看護学科の卒業要件となる 124 単位の単位修得をしていれば、看護師国家試験受験資格および卒業要件は満たす。

5.　保健師履修コースの授業科目の区分と単位

授業科目の区分		最低単位数		備考
		必修	選択	
総合教育科目	人文科学系	2単位	7単位以上	＊保健師履修コース必修 「日本国憲法(2単位)」 「体育理論(1単位)」 「体育理論の実際(1単位)」
	社会科学系	2単位		
	自然情報科学系	7単位		
	外国語系	4単位		
	小　計	15単位	7単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	26単位	4単位以上	＊保健師履修コース必修 **公衆衛生看護学領域**の 全ての科目
	専門科目	81単位	2単位以上	
	小　計	107単位	6単位以上	
合　　計		122単位	13単位以上	
総　　計		135単位以上		

＜注意事項＞

① 保健師履修コースは、2年次末に選抜試験を行い、履修選択者を決定する。
② 保健師履修コースを希望する者は、1学年より、保健師履修コースの必修科目を履修しておく。
③ **履修費（50,000円）が別途必要**となる。
④ 2年次後期授業までに、専門基礎科目の必修科目および専門科目の必修科目の単位が修得できなかった場合は、当該年度における保健師履修コースを選択することはできない。
⑤ 選抜方法の詳細は、2年次後期に案内する。

※保健師履修コースの詳細は、「保健師履修コースについて」（p61）を参照。

6. 留学生の卒業に必要な単位数　（2021年度入学生）

● 2年次から3年次への進級条件

2年次までの専門教育科目について必修科目の未修得科目が**2科目以内**であること。

● 3年次から4年次への進級条件

3年次までの必修の授業科目のうち、未修得科目が**2科目以内**であること。

● 卒業に必要な単位数　（留学生の2021年度入学生）

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得すること。なお、必修科目については、「授業科目一覧」（p58）を参照すること。

授業科目の区分		最低単位数		備考
		必修	選択	
総合教育科目	人文科学系	2単位	10単位以上	
	社会科学系			
	自然情報科学系	5単位		
	外国語系	5単位		
	小　計	12単位	10単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	26単位	4単位以上	
	専門科目	70単位	2単位以上	
	小　計	96単位	6単位以上	
合　　計		108単位	16単位以上	
総　　計		124単位以上		

● 科目履修条件

① 臨地実習は「看護学部教務内規 別表1」により当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる。

② 日本語履修条件については、次のページの「7.留学生の日本語履修条件」を参照すること。

7. 留学生の日本語履修条件

● 開講科目一覧

科目名	配当年次	科目区分・単位数			「外国人のための日本語能力テスト」による単位認定
		必修	選択	自由	
作文・読解Ⅰ（入門）	１２３４		1		
作文・読解Ⅱ（応用）	１２３４	1			
作文・読解Ⅲ（完成）	１２３４		1		BJT の結果により単位認定
文法・語彙Ⅰ（入門）	１２３４		1		
文法・語彙Ⅱ（応用）	１２３４	1			
文法・語彙Ⅲ（完成）	１２３４		1		N1 の結果により単位認定
発表・討論Ⅰ（応用）	１２３４	1			
発表・討論Ⅱ（完成）	１２３４		1		BJT の結果により単位認定
医療福祉専門漢字	１２３４	1			
医療福祉専門語彙	１２３４	1			
日本語基礎Ⅰ（初級）	１２			3	
日本語基礎Ⅱ（初級）	１２			3	

注１）BJT＝ビジネス日本語能力テスト（財団法人漢字能力検定協会主催）
注２）N1＝日本語能力試験（財団法人国際教育支援協会主催）

● 日本語科目の区分

必修科目＝必ず履修する科目（留学生全員、卒業要件に必要な単位）
選択科目＝必要に応じて履修する科目（下記グループ別に、卒業要件単位数が異なる）
自由科目＝必要に応じて履修する科目（卒業要件に含まない科目、ただし単位取得可）

● 日本語科目の履修条件

留学生は、入学時の日本語プレースメントテストの結果により、下記の４グループに分類され、グループ別に指定された選択科目の履修方法により、日本語科目の単位を取得しなければ卒業要件を満たさない。ただし、自由科目（日本語基礎Ⅰ、日本語基礎Ⅱ）の単位は卒業要件に含まれない。

● 留学生の日本語科目履修条件

① 日本語科目を履修する留学生の全グループ共通の履修条件
必修としている日本語科目５単位は、すべて履修する。

② 日本語科目を履修する留学生のグループ別履修条件
グループ１：選択科目を３単位以上取得する。
グループ２：選択科目を５単位以上取得する。
グループ３：自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）を３単位取得後、選択科目を５単位以上取得する。
グループ４：自由科目の日本語基礎Ⅰ（初級）、同Ⅱ（初級）を６単位取得後、選択科目を５単位以上取得すること。

● その他、履修条件

① 選択科目のうち、２単位までは日本語以外の外国語科目（ただし母語以外）をもって代えることができる。
② 本学が指定する「外国人のための日本語能力テスト」の得点により、最大３単位まで日本語科目の単位認定を受けることができる。

9. 保健師履修コースについて

福岡国際医療福祉大学看護学部では保健師履修コースを設けている。
選抜方法の詳細は、**２年次後期**説明会にて提示する。

● **出願資格**

保健師になることに強い意欲があり、責任を持って学習する意思のある者。

＊２年次後期までに、専門基礎科目(必修科目)および専門科目(必修科目)の単位が修得できなかった場合は、当該年度における保健師履修コースを選択することはできない。

＊選択科目のうち、「日本国憲法」「体育理論」「体育理論の実際」「公衆衛生看護診断論」は配当年次（１・２年次）に必ず履修のこと。
２年次後期までに単位が修得できなかった場合は、当該年度における保健師履修コースを選択することはできない。

● **選抜方法**

①選考時期：２学年末

②履修人数：18 名以内

③選抜方法

試験	小論文、面接に２年次後期までの成績（専門基礎および専門の必修科目 f-GPA）を加味して総合的に判断する。
成績	２年後期までの必修科目の成績
面接	志望動機、意欲の確認、コミュニケーション力

● **履修等**

保健師履修コースを希望するものは、１年次より、保健師履修コースに必要な科目を選択、履修する。

①履修科目：別表参照のこと。
②履修登録：選考決定後３年次前期に履修登録を行うこと。
③履修費：履修費 50，000 円（２年間総額）が別途必要となる。

● **実習について**

公衆衛生看護学実習 （5 単位）

実習時期	４年（前期） ７月～９月
実習期間	５週間（１週間：保健福祉、環境事務所（保健所） ４週間：市町村）
実習場所	福岡県内の市町村役場・市町村保健センターおよび保健福祉、環境事務所（保健所）等

＜留意事項＞

・実習先の多くが遠隔地であり、宿泊を伴う場合がある。
・交通費、宿泊費は、原則自己負担となる。
・４年次前期（４月～７月）に実習準備のための学習日を設けている。

● **注意事項**

保健師履修コースに選考された者であっても、休学、留年等により定められた履修年度に科目を履修できない者は、選考や選択コース履修を取り消す可能性がある。

● 保健師資格取得後に得られる資格

養護教諭２種免許、第１種衛生管理者

別表　　保健師国家試験受験資格に必要な科目履修について

科目名		開講年次		単位数	
総合教育科目	体育理論の実際	１年	前期	1	
	体育理論	１年	後期	1	
	日本国憲法	１年	後期	2	
	情報科学演習Ⅱ（応用）	１年	後期	1	＊
専門教育科目	保健統計学	２年	前期	1	＊
	保健医療福祉行政論	２年	後期	2	＊
	疫学	３年	前期	2	＊
	公衆衛生看護学概論	２年	後期	2	＊
	家族看護学	２年	後期	2	＊
	公衆衛生看護診断論	２年	後期	1	
	在宅看護学方法論	３年	前期	2	＊
	公衆衛生看護技術論	３年	前期	1	
	公衆衛生看護対象論	３年	前期	1	
	グループ支援	３年	前期	1	
	産業看護論	４年	前期	1	
	災害看護論	４年	前期	2	＊
	国際看護論	４年	前期	2	＊
	公衆衛生看護管理論	４年	後期	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（継続支援実習）	４年	前期	2	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（展開・管理実習）	４年	前期	3	

＊看護学科必修科目

修得単位自己管理表

卒業要件に定められた単位数を修得しているか、定期的に確認をしましょう。

【看護師課程】

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">総合教育科目</td><td colspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>1 年次</td><td>/8 単位</td><td rowspan="4">/11 単位
以上</td><td>/12 単位</td><td rowspan="4">/4 単位
以上</td><td>/9 単位</td><td rowspan="4">/2 単位
以上</td></tr>
<tr><td>2 年次</td><td>/3 単位</td><td>/9 単位</td><td>/28 単位</td></tr>
<tr><td>3 年次</td><td>－</td><td>/5 単位</td><td>/28 単位</td></tr>
<tr><td>4 年次</td><td>－</td><td>－</td><td>/5 単位</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>11 単位</td><td>11 単位以上</td><td>26 単位</td><td>4 単位以上</td><td>70 単位</td><td>2 単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="7">総合計　124 単位以上</td></tr>
</table>

【保健師課程】

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">総合教育科目</td><td colspan="2">専門基礎科目</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td><td>必修</td><td>選択</td></tr>
<tr><td>1 年次</td><td>/12 単位</td><td rowspan="4">/7 単位
以上</td><td>/12 単位</td><td rowspan="4">/4 単位
以上</td><td>/9 単位</td><td rowspan="4">/2 単位
以上</td></tr>
<tr><td>2 年次</td><td>/3 単位</td><td>/9 単位</td><td>/29 単位</td></tr>
<tr><td>3 年次</td><td>－</td><td>/5 単位</td><td>/31 単位</td></tr>
<tr><td>4 年次</td><td>－</td><td>－</td><td>/12 単位</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>15 単位</td><td>7 単位以上</td><td>26 単位</td><td>4 単位以上</td><td>81 単位</td><td>2 単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="7">総合計　135 単位以上</td></tr>
</table>

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件　（2022年度入学生）

看護学科の卒業要件は、本学に４年以上在学し、指定された必修科目すべてと選択科目を合わせて、124 単位を修得しなければならない。保健師履修コースの選択者は、139 単位を修得しなければならない。

表１．看護学科卒業に必要な科目および単位数（留学生を除く）

授業科目の区分		最低単位数		備考
		必修	選択	
総合教育科目	人文科学系	２単位	７単位以上	【必修科目（14 単位）】 コミュニケーション概論 海外保健福祉事情Ⅰ（講義） 海外保健福祉事情Ⅱ（実習） 社会保証制度論 統計学 生命倫理 大学入門講座（看護） 医学英語Ⅰ（基礎） 医学英語Ⅱ（応用） ※上記以外より選択科目７単位以上
	社会科学系	５単位		
	自然・情報系	４単位		
	保健体育系			
	総合系	１単位		
	外国語系	２単位		
	小　計	14 単位	７単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	25 単位	２単位以上	【選択科目】 保健医療福祉行政論 リスクマネジメント論 ケアマネジメント論 カウンセリング論 関連職種連携実習 ※上記以外は必修科目
	専門科目	74 単位	２単位以上	【選択科目】 クリティカルケア論 エンドオブライフケア 子供健康学 性と健康の科学 ストレスマネジメント グローバルヘルス 看護管理論、看護教育学 公衆衛生看護学概論 ※上記以外は必修科目
	小　計	99 単位	４単位以上	
合　計		113 単位	11 単位以上	
総　計		124 単位以上		

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる（p49 別表１）。

表2．看護学科卒業に必要な単位数（留学生）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="8">総合教育科目</td><td>人文科学系</td><td>２単位</td><td rowspan="7">３単位以上</td><td rowspan="7">【必修科目（18 単位）】
コミュニケーション概論
海外保健福祉事情Ⅰ（講義）
海外保健福祉事情Ⅱ（実習）
社会保証制度論
統計学
生命倫理
大学入門講座（看護）
医学英語Ⅰ（基礎）
医学英語Ⅱ（応用）
日本語Ⅰ、日本語Ⅱ
日本語Ⅲ、日本語Ⅳ
※上記以外より選択科目３単位以上</td></tr>
<tr><td>社会科学系</td><td>５単位</td></tr>
<tr><td>自然・情報系</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td>保健体育系</td><td></td></tr>
<tr><td>総合系</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>外国語系</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>日本語科目（留学生）</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td>小　計</td><td>18 単位</td><td>３単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>25 単位</td><td>２単位以上</td><td>【選択科目】
保健医療福祉行政論
リスクマネジメント論
ケアマネジメント論
カウンセリング論
関連職種連携実習
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>74 単位</td><td>２単位以上</td><td>【選択科目】
クリティカルケア論
エンドオブライフケア
子供健康学
性と健康の科学
ストレスマネジメント
グローバルヘルス
看護管理論
看護教育学
公衆衛生看護学概論
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>小　計</td><td>99 単位</td><td>４単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>117 単位</td><td>７単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">総　　計</td><td colspan="2">124 単位以上</td><td></td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる（p49 別表１）。

表３．卒業に必要な単位数　【保健師履修コース】

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">●保健師国家試験受験に必要な選択科目
○養護教諭２種免許申請に必要な選択科目</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="7">総合教育科目</td><td>人間系</td><td>２単位</td><td rowspan="6">７単位以上</td><td rowspan="6">○日本国憲法（2 単位）
○情報処理Ⅰ（基礎）（1 単位）
○●情報処理Ⅱ（応用）（1 単位）
○健康科学理論（1 単位）
○健康科学実践（1 単位）

※その他の必修科目および選択科目は看護師に準ずる。留学生の場合は日本語科目が必修に加わる（詳細は表２）。</td></tr>
<tr><td>社会系</td><td>５単位</td></tr>
<tr><td>自然・情報系</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td>保健体育系</td><td></td></tr>
<tr><td>総合系</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>外国語系</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>小　計</td><td>14 単位</td><td>７単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>25 単位</td><td>２単位以上</td><td>●保健医療福祉行政論（1 単位）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門科目</td><td rowspan="2">74 単位</td><td>２単位以上</td><td>●公衆衛生看護学概論（2 単位）</td></tr>
<tr><td>15 単位以上</td><td>●地域診断論（2 単位）
●公衆衛生看護活動論（2 単位）
●公衆衛生看護技術論（2 単位）
●公衆衛生看護技術演習（1 単位）
●産業・学校看護活動論（1 単位）
●公衆衛生看護管理論（2 単位）
●公衆衛生看護学実習Ⅰ（2 単位）
●公衆衛生看護学実習Ⅱ（3 単位）
※その他の専門教育科目（必修科目および選択科目）は看護師に準ずる。</td></tr>
<tr><td>小　計</td><td>99 単位</td><td>19 単位以上</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>113 単位</td><td>26 単位以上</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">総　　計</td><td colspan="2">139 単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第３年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる（p49 別表１）

別表１．臨地実習履修に必要な科目の修得条件

学年	開講	単位	臨地実習履修条件科目名	単位
1	生活支援論実習	1	生活支援技術論演習Ⅰ 生活支援技術論演習Ⅱ	1 1
2	小児看護学実習Ⅰ （地域で暮らす子ども）	1	小児看護学概論	1
	地域・在宅看護学実習Ⅰ （地域での暮らしと健康）	1	地域・在宅看護学総論Ⅰ	1
	看護過程論実習	2	看護過程論	1
3	地域・在宅看護学実習Ⅱ （地域での療養支援）	2	地域・在宅看護学総論Ⅱ（地域での療養支援） 地域・在宅看護学方法論 地域・在宅看護学演習	2 2 1
	成人・老年看護学実習Ⅰ（慢性期）	3	成人看護学総論 成人慢性期看護学方法論 成人急性期看護学方法論 成人看護学総合演習 老年看護学概論 老年看護学方法論 老年看護学演習	1 2 2 1 1 2 1
	成人・老年看護学実習Ⅱ（急性期）	3		
	成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢期）	3		
	小児看護学実習Ⅱ （病院で治療を受けるこども）	1	小児看護学概論 小児看護学方法論 小児看護学演習	1 2 1
	リプロダクティブヘルス看護学実習	2	リプロダクティブヘルス看護学概論 リプロダクティブヘルス看護学方法論 リプロダクティブヘルス看護学演習	1 2 1
	精神看護学実習	2	精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学演習	1 2 1
4	看護学統合実習	3	４年次生への進級	
4	公衆衛生看護学実習Ⅰ （個人・家族、集団・組織の支援実習）	2	**※保健師履修コース学生のみ** 健康教育学 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護技術論 地域診断論 産業・学校看護活動論 公衆衛生看護技術演習	2 2 2 2 2 1 1
	公衆衛生看護学実習Ⅱ （公衆衛生看護活動展開実習）	3		

保健師履修コース

福岡国際医療福祉大学看護学部では保健師履修コースを設けている。

① 保健師履修コースは、2年次末に選抜試験を行い、履修選択者を決定する。

② 保健師履修コースを希望する者は、1年次より、保健師履修コースに必要な科目を履修する。

● **出願資格**

① 保健師になることに強い意欲があり、責任を持って学修する意思のある者。

② 2 年次後期までの専門基礎科目および専門科目の必修科目の単位が修得できている者。できなかった場合は、保健師履修コースを選択することはできない。

● **選考方法等**

① 選考時期：2 年次末

② 履修人数：18 名以内

③ 選考方法：小論文・面接・成績（2 年次後期までの専門基礎科目および専門科目の必修科目）

※選抜方法の詳細は、2 年次後期に案内する。

● **履修等**

① 履修科目：p51 別表 2 参照。

② 履修登録：選考決定後 3 年次および 4 年次に履修登録を行うこと。

③ 履 修 費：50,000 円（2 年間総額）が別途必要となる。

● **実習**公衆衛生看護学実習 （5 単位）

実習時期	4 年（前期） 7 月～9 月
実習期間	5 週間
実習場所	福岡県内の市町村役場・市町村保健センター、保健福祉環境事務所（保健所）等

● **注意事項**

保健師履修コースに選考された者であっても、休学、留年等により定められた履修年度に科目を履修できない者は、選考や選択コース履修を取り消す可能性がある。

● **保健師資格取得後に得られる資格**

養護教諭 2 種免許、第 1 種衛生管理者

別表２．保健師履修コース卒業に必要な科目および単位数
（下段※は養護教諭２種免許申請に必要な科目および単位）

科目名			開講年次		単位数		保健師国試受験資格に必要な科目	養護教諭2種免許申請に必要な科目
					必修	選択		
総合教育科目	自然・情報系	情報処理Ⅱ（応用）	1年	後期		1	●	○
専門教育科目	専門基礎	保健医療福祉制度論	1年	後期	2		●	
		疫学	2年	前期	2		●	
		保健統計学	2年	前期	1		●	
		保健医療福祉行政論	2年	後期		1	●	
	専門	健康教育学	2年	後期	2		●	
		公衆衛生看護学概論	2年	後期		2	●	
		地域診断論	3年	前期		2	●	
		公衆衛生看護活動論	3年	前期		2	●	
		公衆衛生看護技術論	3年	前期		2	●	
		災害看護学	4年	前期	1		●	
		国際看護学	4年	前期	1		●	
		公衆衛生看護技術演習	4年	前期		1	●	
		産業・学校看護活動論	4年	前期		1	●	
		公衆衛生看護管理論	4年	後期		2	●	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ (個人・家族、集団・組織の支援実習)	4年	前期		2	●	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ (公衆衛生看護活動展開実習)	4年	前期		3	●	

※

総合教育科目	自然・情報系	情報処理Ⅰ（基礎）	1年	前期		1		○
	社会系	日本国憲法	1・2年	後期		2		○
	保健・体育系	健康科学理論	1・2年	前期		1		○
		健康科学実践	1・2年	後期		1		○
	外国語系	医学英語Ⅰ（基礎）	1年	前期	1			○
		医学英語Ⅱ（応用）	1年	後期	1			○

※保健師資格取得後、養護教諭２種免許を申請するためには「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の科目（各科目２単位）を大学において修得することが必要。
本学における科目名は上記表に示す通り。

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件　（2023年度入学生）

看護学科の卒業要件は、本学に4年以上在学し、指定された必修科目すべてと選択科目を合わせて、124単位を修得しなければならない。保健師履修コースの選択者は、139単位を修得しなければならない。

看護学科（留学生を除く）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

授業科目の区分		最低単位数		備考
		必修	選択	
総合教育科目	人間系	２単位	７単位以上	【必修科目（１４単位）】 コミュニケーション概論 海外保健福祉事情Ⅰ（講義） 海外保健福祉事情Ⅱ（実習） 社会保障制度論 統計学 生命倫理 大学入門講座（看護） 医学英語Ⅰ（基礎） 医学英語Ⅱ（応用） ※上記以外より選択科目７単位以上
	社会系	５単位		
	自然・情報系	４単位		
	保健体育系			
	総合系	１単位		
	外国語系	２単位		
小計		１４単位	７単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	２５単位	２単位以上	【選択科目】 保健医療福祉行政論 リスクマネジメント論 ケアマネジメント論 カウンセリング論 関連職種連携実習 ※上記以外は必修科目
	専門科目	７４単位	２単位以上	【選択科目】 クリティカルケア論 エンドオブライフケア 子ども健康学、性と健康の科学 ストレスマネジメント グローバルヘルス、看護管理論 看護教育学、公衆衛生看護学概論 ※上記以外は必修科目
小計		９９単位	４単位以上	
合計		１１３単位	１１単位以上	
総計		１２４単位以上		

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第3年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる。

（P60別表1）

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

看護学科（留学生）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="8">総合教育科目</td><td>人間系</td><td>２単位</td><td rowspan="7">３単位以上</td><td rowspan="8">【必修科目（１４単位）】
コミュニケーション概論
海外保健福祉事情Ⅰ（講義）
海外保健福祉事情Ⅱ（実習）
社会保障制度論
統計学
生命倫理
大学入門講座（看護）
医学英語Ⅰ（基礎）
医学英語Ⅱ（応用）
日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ、日本語Ⅳ
※上記以外より選択科目３単位以上</td></tr>
<tr><td>社会系</td><td>５単位</td></tr>
<tr><td>自然・情報系</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td>保健体育系</td><td></td></tr>
<tr><td>総合系</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>外国語系</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>日本語科目（留学生）</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１８単位</td><td>３単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>２５単位</td><td>２単位以上</td><td>【選択科目】
保健医療福祉行政論
リスクマネジメント論
ケアマネジメント論
カウンセリング論
関連職種連携実習
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>７４単位</td><td>２単位以上</td><td>【選択科目】
クリティカルケア論
エンドオブライフケア
子ども健康学、性と健康の科学
ストレスマネジメント
グローバルヘルス、看護管理論
看護教育学、公衆衛生看護学概論
※上記以外は必修科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９９単位</td><td>４単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１７単位</td><td>７単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１２４単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第3年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる。

（P60別表1）

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

保健師履修コース（留学生を除く）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">保健師履修コースに必要な選択科目</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="6">総合教育科目</td><td>人間系</td><td>２単位</td><td rowspan="6">７単位以上</td><td rowspan="7">日本国憲法（2単位）
情報処理Ⅰ（基礎）（1単位）
情報処理Ⅱ（応用）（1単位）
健康科学理論（1単位）
健康科学実践（1単位）

※その他の必修科目および選択科目は看護師に準ずる。</td></tr>
<tr><td>社会系</td><td>５単位</td></tr>
<tr><td>自然・情報系</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td>保健体育系</td><td></td></tr>
<tr><td>総合系</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>外国語系</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１４単位</td><td>７単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>２５単位</td><td>２単位以上</td><td>保健医療福祉行政論（1単位）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門科目</td><td rowspan="3">７４単位</td><td>２単位以上</td><td>公衆衛生看護学概論（2単位）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１５単位以上</td><td rowspan="2">地域診断論（2単位）
公衆衛生看護活動論（2単位）
公衆衛生看護技術論（2単位）
公衆衛生看護技術演習（1単位）
産業・学校看護活動論（1単位）
公衆衛生看護管理論（2単位）
公衆衛生看護学実習Ⅰ（2単位）
公衆衛生看護学実習Ⅱ（3単位）
※その他の専門教育科目（必修科目および選択科目）は看護師に準ずる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９９単位</td><td>１９単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１３単位</td><td>２６単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１３９単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第3年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる。

（P60別表1）

卒業に必要な単位数確認表、進級条件、科目履修条件

保健師履修コース（留学生）　（2023年度入学生）

卒業に必要な単位数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">授業科目の区分</th><th colspan="2">最低単位数</th><th rowspan="2">保健師履修コースに必要な選択科目</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="7">総合教育科目</td><td>人間系</td><td>２単位</td><td rowspan="7">３単位以上</td><td rowspan="8">日本国憲法（2単位）
情報処理Ⅰ（基礎）（1単位）
情報処理Ⅱ（応用）（1単位）
健康科学理論（1単位）
健康科学実践（1単位）

※その他の必修科目および選択科目は看護師に準ずる。</td></tr>
<tr><td>社会系</td><td>５単位</td></tr>
<tr><td>自然・情報系</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td>保健体育系</td><td></td></tr>
<tr><td>総合系</td><td>１単位</td></tr>
<tr><td>外国語系</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>日本語科目（留学生）</td><td>４単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>１8単位</td><td>3単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td>専門基礎科目</td><td>２５単位</td><td>２単位以上</td><td>保健医療福祉行政論（1単位）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門科目</td><td rowspan="3">７４単位</td><td>２単位以上</td><td>公衆衛生看護学概論（2単位）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１５単位以上</td><td rowspan="2">地域診断論（2単位）
公衆衛生看護活動論（2単位）
公衆衛生看護技術論（2単位）
公衆衛生看護技術演習（1単位）
産業・学校看護活動論（1単位）
公衆衛生看護管理論（2単位）
公衆衛生看護学実習Ⅰ（2単位）
公衆衛生看護学実習Ⅱ（3単位）
※その他の専門教育科目（必修科目および選択科目）は看護師に準ずる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">小計</td><td>９９単位</td><td>１９単位以上</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１１７単位</td><td>２２単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">総計</td><td colspan="2">１３９単位以上</td></tr>
</table>

進級条件

【第３学年への進級条件】

第２年次までに開講される必修の専門教育科目のうち、未修得科目が２科目以下であること。

【第４学年への進級条件】

第3年次までに開講される必修科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。

科目履修条件

臨地実習は、当該実習に対応する授業科目を履修し、単位修得が確認できた者のみが履修できる。

（P60別表1）

別表１．臨地実習履修に必要な科目の修得条件

学年	開講	単位	臨地実習履修条件科目名	単位
1	生活支援論実習	1	生活支援技術論演習Ⅰ 生活支援技術論演習Ⅱ	1 1
2	小児看護学実習Ⅰ （地域で暮らす子ども）	1	小児看護学概論	1
	地域・在宅看護学実習Ⅰ （地域での暮らしと健康）	1	地域・在宅看護学総論Ⅰ	1
	看護過程論実習	2	看護過程論	1
3	地域・在宅看護学実習Ⅱ （地域での療養支援）	2	地域・在宅看護学総論Ⅱ（地域での療養支援） 地域・在宅看護学方法論 地域・在宅看護学演習	2 2 1
	成人・老年看護学実習Ⅰ（慢性期）	3	成人看護学総論 成人慢性期看護学方法論 成人急性期看護学方法論 成人看護学総合演習 老年看護学概論 老年看護学方法論 老年看護学演習	1 2 2 1 1 2 1
	成人・老年看護学実習Ⅱ（急性期）	3		
	成人・老年看護学実習Ⅲ（高齢期）	2		
	小児看護学実習Ⅱ （病院で治療を受けるこども）	1	小児看護学概論 小児看護学方法論 小児看護学演習	1 2 1
	リプロダクティブヘルス看護学実習	2	リプロダクティブヘルス看護学概論 リプロダクティブヘルス看護学方法論 リプロダクティブヘルス看護学演習	1 2 1
	精神看護学実習	2	精神看護学概論 精神看護学方法論 精神看護学演習	1 2 1
4	看護学統合実習	3	４年次生への進級	
4	公衆衛生看護学実習Ⅰ （個人・家族、集団・組織の支援実習）	2	※保健師履修コース学生のみ 健康教育学 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護技術論 地域診断論 産業・学校看護活動論 公衆衛生看護技術演習	 2 2 2 2 2 1 1
	公衆衛生看護学実習Ⅱ （公衆衛生看護活動展開実習）	3		

保健師履修コース

福岡国際医療福祉大学看護学部では保健師履修コースを設けている。

① 保健師履修コースは、2年次末に選抜試験を行い、履修選択者を決定する。
② 保健師履修コースを希望する者は、1年次より、保健師履修コースに必要な科目を履修する。

● **出願資格**

① 保健師になることに強い意欲があり、責任を持って学修する意思のある者。
② 2 年次後期までの専門基礎科目・専門科目の必修科目および指定された選択科目の単位が修得できている者。

● **選考方法等**

① 選考時期：2 年次末
② 履修人数：18 名以内
③ 選考方法：小論文・面接・成績（2 年次後期までの専門基礎科目および専門科目の必修科目）
※選抜方法の詳細は、2 年次後期に案内する。

● **履修等**

① 履修科目：p62 別表 2 参照。
② 履修登録：選考決定後 3 年次および 4 年次に履修登録を行う。
③ 履 修 費：50,000 円（2 年間総額）が別途必要。

● **実習**公衆衛生看護学実習 （5 単位）

実習時期	4 年（前期） 7 月～9 月
実習期間	5 週間
実習場所	福岡県内の市町村役場・市町村保健センター、保健福祉環境事務所（保健所）等

● **注意事項**

保健師履修コースに選考された者であっても、休学、留年等により定められた履修年度に科目を履修できない者は、選考や選択コース履修を取り消す可能性がある。

● **保健師資格取得後、申請により得られる資格**

養護教諭 2 種免許、第 1 種衛生管理者

別表２．保健師履修コース卒業に必要な科目および単位数

科目名			開講年次		単位数	
					必修	選択
総合教育科目	自然・情報系	情報処理Ⅱ（応用）	1年	後期		1
専門教育科目	専門基礎	保健医療福祉制度論	1年	後期	2	
		疫学	2年	前期	2	
		保健統計学	2年	前期	1	
		保健医療福祉行政論	2年	後期		1
	専門	健康教育学	2年	後期	2	
		公衆衛生看護学概論	2年	後期		2
		地域診断論	3年	前期		2
		公衆衛生看護活動論	3年	前期		2
		公衆衛生看護技術論	3年	前期		2
		災害看護学	4年	前期	1	
		国際看護学	4年	前期	1	
		公衆衛生看護技術演習	4年	前期		1
		産業・学校看護活動論	4年	前期		1
		公衆衛生看護管理論	4年	後期		2
		公衆衛生看護学実習Ⅰ (個人・家族、集団・組織の支援実習)	4年	前期		2
		公衆衛生看護学実習Ⅱ (公衆衛生看護活動展開実習)	4年	前期		3
総合教育科目	自然・情報系	情報処理Ⅰ（基礎）	1年	前期		1
	社会系	日本国憲法	1・2年	後期		2
	保健・体育系	健康科学理論	1・2年	前期		1
		健康科学実践	1・2年	後期		1
	外国語系	医学英語Ⅰ（基礎）	1年	前期	1	
		医学英語Ⅱ（応用）	1年	後期	1	

※保健師資格取得後、養護教諭２種免許を申請するためには「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の科目（各科目２単位）を大学において修得することが必要。
本学における科目名は上記表に示す通り。